Japan Foundation for
Regional Art-Activities

地域創造レター

News Letter to Arts Crew

7月号—No.255
2016.6.25
（毎月1回25日発行）

フェスタ サマーミューザ KAWASAKI 2015「イッツ・ア・ピアノワールド」
撮影：青柳聡

●目次／*contents*

特集「2016年夏のフェスティバル」

フェスティバルカレンダー……3
夏休み子ども企画カレンダー……6
地域通信……10
財団からのお知らせ……12
「地域創造フェスティバル2016」参加者募集
平成28年度「邦楽地域活性化事業」全体研修会参加者募集
平成28年度「地域創造大賞（総務大臣賞）」募集開始
平成29・30年度「公立美術館活性化事業」募集
　平成29・30年度「市町村立美術館活性化事業」
　平成29・30年度「公立美術館共同巡回展開催助成事業」（2か年）
　平成29年度「公立美術館共同巡回展開催助成事業」（単年度）
　平成29年度「公立美術館共同巡回展企画支援事業」
　平成29年度「公立美術館共同地域交流プログラム助成事業」
今月のレポート……16
東京都台東区　東京文化会館「ミュージック・ワークショップ」

発行元：一般財団法人地域創造
〒107-0052 東京都港区赤坂2-9-11
オリックス赤坂2丁目ビル 9F
Tel. 03-5573-4066　Fax. 03-5573-4060
URL: http://www.jafra.or.jp/

特集「2016年 夏のフェスティバル」

恒例の「夏のフェスティバル特集号」の季節となりました。話題の大型企画から定番イベントまで、一挙にご紹介します。

今年も夏から秋にかけて、文化施設を飛び出したアートプロジェクトが目白押しです。12島を主な会場に100万人を超える集客で新しい観光資源になっている「瀬戸内国際芸術祭」(春3月20日～4月17日・夏7月18日～9月4日・秋10月8日～11月6日)、国内外100組以上のアーティストが参加して本格的な舞台芸術にも取り組む「あいちトリエンナーレ」(8月11日～10月23日)、東北文化の再発見・再創造にアプローチする「みちのおくの芸術祭～山形ビエンナーレ」(9月3日～25日)、被災地で開催される「いわてアートプロジェクト」(8月29日～12月25日)、「福島現代美術ビエンナーレ」(9月9日～10月10日)、歴史的な町並みや町家を活かした「BIWAKOビエンナーレ」(9月17日～11月6日)、「丹波篠山まちなみアートフェスティバル」(9月17日～25日)、「龍野アートプロジェクト」(11月3日～13日)、森や湖などの自然と向き合う「原始感覚芸術祭」(8月6日～9月4日)、廃校を活用した「飛生芸術祭」(9月10日～18日)、「西宮船坂ビエンナーレ」(10月29日～11月13日)、東アジア文化都市に指定された奈良市が神社などを舞台に実施する「古都祝(ことほぐ)奈良」、今年から新たに始まる「茨城県北芸術祭」(9月17日～11月20日)、「さいたまトリエンナーレ」(9月24日～12月11日)、「岡山芸術交流」(10月9日～11月27日)など、特徴ある取り組みが続きます(今後本紙で情報を掲載)。

瀬戸内国際芸術祭では、既存作品と合わせて、25の国と地域から177組の作家とプロジェクトが参加。建築と一体になった個人美術館のような作品が充実している直島、豊島、犬島に対し、地域づくりの観点から注目されるのが、「小豆島町未来プロジェクト」です。これは、町が文化・アート総合戦略として位置づけ、現代美術家の椿昇をディレクターに島全土で滞在制作・イベント・食プロジェクトなどを行うもので、成果が期待されます。

また、東北芸術工科大学が主催し、絵本作家・アーティストの荒井良二が芸術監督を務めるみちのおくの芸術祭も、地域との関係づくりを重視したリレーショナル・アートの取り組みとして注目されています。同大学では、2005年から美術館大学センターを設置し、学生と地域に出掛けたアートプロジェクトを展開。その集大成として13年に立ち上げたのがこの芸術祭です。山形で暮らす人々や文化、生活に着目し、山形のものづくりやクリエーターの手仕事を集めた「市(いち)プロジェクト」をはじめ、人々とアーティストと学生による多彩な協働が展開します。

舞台芸術関係では、夏恒例の「いいだ人形劇フェスタ」(8月2日～7日)が今年は市内約120カ所で480ステージを展開。海外招聘や国際共同プロジェクトにも力を入れています。昨年度「キジムナーフェスタ」から名称変更した「りっかりっか＊フェスタ」(7月22日～31日)では青少年を対象にした国内外30作品を上演します。

また、今年5月に開館したばかりの長野市芸術館(芸術監督:久石譲)が夏の音楽祭「アートメントNAGANO」(7月14日～29日)を新たにスタート。同館が立ち上げるナガノ・チェンバー・オーケストラのお披露目コンサートなどを行います。ほかにも数多くの音楽フェスが行われますので、情報頁を参照してください。

写真

左上:宮城県石巻市「トリコローレ音楽祭」

右上:大分県大分市「Tanavata Starlight Express」

左下:茨城県日立市「子どもオペラ学校ワークショップ」

右下:広島市現代美術館「夏のワークショップ・プロジェクト2014『音であそぼう!野村誠の音楽室』」(撮影:内田和宏)

2016年7月～9月
フェスティバルカレンダー

ジャンル別に、開催地、日程、事業名、事業内容の順に掲載しています。
会は会場、問は問い合わせ先です。
（ は地域創造助成事業）

音楽

●札幌市　7月16日～8月9日
パシフィック・ミュージック・フェスティバル（PMF）

音楽による国際交流、相互理解を目指し、1990年にレナード・バーンスタインが創設した国際教育音楽祭。オーディションで選ばれた27カ国・地域の若手演奏家97名が、世界的な音楽家から1カ月間の指導を受け、札幌をはじめ各地で開催される演奏会でその成果を広く披露する。オープンリハーサルやアウトリーチコンサートなども含め25日間で約40公演が実施される。
会札幌コンサートホールkitara、札幌芸術の森・野外ステージ ほか　問公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会
Tel. 011-242-2211

昨年の「GALAコンサート」

●札幌市　7月9日～8月12日
サッポロ・シティ・ジャズ2016

札幌の街中で開催される国内最大規模のジャズフェスティバル。市内中心部の大通公園で開催する「SAPPORO MUSIC TENT LIVE」では国内外のトッププロの演奏を楽しめるほか、市内各所で気軽に楽しめる「PARK JAZZ LIVE」は4日間で362組が出演する過去最大規模となり、まさに街中がジャズで一色になる。自然豊かな芸術の森野外ステージで、国内外約200人以上のジャズスクール生や札幌が誇るフル編成ビッグバンドの演奏が楽しめる「North JAM Session」も開催。
会札幌大通公園、札幌芸術の森・野外ステージ ほか　問サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会
Tel. 011-592-4125

昨年の「SAPPORO MUSIC TENT LIVE」

●青森県八戸市　7月30日
南郷サマージャズフェスティバル2016

1990年に地域振興を目的として始まった北東北最大級のジャズフェスティバル。ジャズ界を代表するベーシストのリチャード・ボナや日野皓正、大西順子など国内外で活躍するアーティストから地元アマチュアバンドまでが出演し、多彩なライブを行う。会場内には地元特産品を味わえる屋台村が設置される。
会カッコーの森エコーランド 野外ステージ　問南郷ジャズフェスティバル実行委員会
Tel. 0178-82-2111

昨年の様子（オープンステージ）

●宮城県石巻市　8月28日
第13回トリコローレ音楽祭

「音楽」「空気（自然）」「人々」の三色旗（＝トリコローレ）を旗印に、公募によって集まったさまざまなジャンルの演奏が行われる音楽祭。13回目を迎える今回は市民から広く運営ボランティアを公募するなど、地域との連携をさらに強化。石巻市街地を中心とした14会場にて、約160組の出演を予定しており、音楽を愛する演奏者と聴衆の交流の場を提供する。
会石巻市内各所
問トリコローレ音楽祭実行委員会
Tel. 0225-23-2109

●群馬県草津町　8月17日～30日
第37回草津夏期国際音楽アカデミー＆フェスティヴァル

「日常から離れて自分の中の音楽を見つめ直す」という理念の下、国の内外から演奏家を迎え、講習会と演奏会により構成される音楽祭。1980年から毎年夏に開催され、37回目の今年は「イタリアから、イタリアへ」をテーマに、2週間の開催期間中、毎日さまざまなコンサートが行われる。世界的な演奏家によるレッスンをより多くの人に聴講してもらうため、マスタークラスは一般も聴講が可能。

昨年度の講習会の様子　©林喜代種

会草津音楽の森国際コンサートホール ほか
問草津アカデミー事務局
Tel. 03-5790-5561

●川崎市　7月23日～8月11日
フェスタ サマーミューザ KAWASAKI 2016

ミューザのフランチャイズオーケストラである東京交響楽団をはじめとする首都圏のプロ管弦楽団10団体と学生オーケストラなどが集結、20日間にわたりクラッシックからジャズやポップス、までさまざまなコンサートが連日開催される。期間中は、公開リハーサルや室内楽コンサートなども開催され、演奏レビューを速報する日刊紙が発行される。
会ミューザ川崎シンフォニーホール、昭和音楽大学テアトロ・ジーリオ・ショウワ　問ミューザ川崎シンフォニーホール
Tel. 044-520-0200

●富山県南砺市　8月26日～28日
スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド2016

世界の話題のアーティストによるステージや出演者から直接教わるワークショップなど3日間にわたり多彩なプログラムが行われる。今年の海外アーティストはセシリア・トッド（ベネズエラ）、ヴォードゥー・ゲーム（トーゴ／フランス）らに注目。毎年行っているブラジル打楽器のワークショップを県外でも実施し、例年より大規模な成果発表パレードとなる予定。また東京、名古屋、沖縄では来日アーティストを紹介するネットワーク公演も開催される。
会南砺市福野文化創造センター「ヘリオス」ほか
問スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド実行委員会事務局
Tel. 0763-22-1125

●山梨県富士河口湖町　8月13日～28日

富士山河口湖音楽祭2016

指揮者の佐渡裕が監修を務め、毎年夏期に開催される音楽祭。河口湖ステラシアター、富士山五合目などさまざまな会場で約55のプログラムの開催を予定。15回目の記念となる今年は、公募で参加者を募り、富士山河口湖音楽祭2016特別合唱団を編成。宮川彬良＆アンサンブル・ベガコンサートで演奏を披露する。フィナーレ公演は毎年恒例の佐渡の指揮によるシエナ・ウインド・オーケストラコンサートが行われる。

会 河口湖ステラシアター、河口湖円形ホール ほか

問 富士山河口湖音楽祭実行委員会　Tel. 0555-72-5588

昨年の様子（佐渡裕指揮シエナ・ウインド・オーケストラ コンサート）

●長野県長野市　7月14日～29日

アートメントNAGANO 2016

今年5月にオープンした長野市芸術館をメイン会場にスタートする音楽祭。監修は同館芸術監督を務める久石譲。「日常に芸術を」をテーマに、現代音楽からクラシック、伝統芸能までさまざまなジャンルのコンサートやワークショップなどが予定されている。7月16日、17日には同館が立ち上げる「ナガノ・チェンバー・オーケストラ」のデビュー公演となる定期演奏会が行われる。

会 長野市芸術館、善光寺本堂 ほか　問 アートメントNAGANO事務局　Tel. 026-219-3192

●長野県松本市　8月9日～9月9日

セイジ・オザワ 松本フェスティバル

1992年より「サイトウ・キネン・フェスティバル松本」として開催されていた音楽祭。昨年から総監督の小澤征爾の名を冠して改名された。長野県の小学6年生を対象にした演奏会「子どものための音楽会」、県内167校、5,263人の中学1年生が鑑賞する予定の「子どものためのオペラ」など、昨年に引き続き教育プログラムにも力を入れる。

会 キッセイ文化ホール（長野県松本文化会館）、まつもと市民芸術館 ほか　問 セイジ・オザワ松本フェスティバル実行委員会事務局　Tel. 0263-34-3290

昨年の「子どものためのオペラ」（ラヴェル『子どもと魔法』）　©山田毅

●長野県軽井沢町　8月26日～28日

軽井沢国際合唱フェスティバル2016

今年で12回目を迎える合唱の祭典。松下耕が総合音楽監督を務め、国内外から合唱団や講師を招いて、コンサートのほか講座やワークショップなどが行われる。初来日となるラトビアの女声アンサンブル「Latvian Voices」によるワークショップはこの祭典ならではの企画。会期中は、日本国際合唱作曲コンクール結果発表コンサートも行われる。

会 軽井沢大賀ホール ほか

問 軽井沢国際合唱フェスティバル実行委員会

Tel. 042-683-1465

●長野県上田市　8月16日～22日

第17回NAGANO国際音楽祭2016

1986年、長野県上田市出身の中澤きみ子らが始めたヴァイオリンとヴィオラのセミナーが原点となり、発展した音楽祭。東京藝術大学学長の澤和樹を音楽監督に迎えてセミナーを行っている。今年は白馬村でレッスンを実施し、最終日に成果の場として本年オープンした長野市芸術館で「スチューデント・コンサート」が開かれる。21日には講師陣とマスタークラスの選抜受講生で演奏するガラコンサートも開催。

会 信州国際音楽村ホールこだま、長野市芸術館リサイタルホール　問 NAGANO国際音楽祭実行委員会　Tel. 0268-24-7657

昨年度のマスタークラスの弦楽合奏練習

●鹿児島県霧島市　7月15日～8月7日

第37回霧島国際音楽祭

鹿児島・霧島温泉エリアで、一流の音楽家による講習会や多彩なコンサートを展開する伝統クラシック音楽祭。今年は、鹿児島市出身の吉俣良と、鹿児島交響楽団メンバーによる演奏のほか、オープニングコンサートでは、堤剛によるチェロリサイタルを行う。また低価格で気軽に楽しめる「音楽の散歩」シリーズを鹿児島市内でも開催。

会 霧島国際音楽ホール（みやまコンセール）、宝山ホール ほか

問 みやまコンセール

Tel. 0995-78-8000

演劇・ダンス

●札幌市　7月30日～8月28日

教文演劇フェスティバル2016 短編演劇祭

演劇の振興と市民への普及を目的とし、毎年夏に開催している演劇の祭典。道内外で活躍する劇団やユニットが、今年のテーマ「レイ」を題材に制限時間20分の作品で競う。台本審査で選ばれた8団体が短編演劇祭予選・決勝へと進み、昨年の王者・東海連合に挑む。優勝は、観客や審査員の投票により決められる。ワークショップなどの関連企画も開催。

会 問 札幌市教育文化会館

Tel. 011-271-5822

2015年短編演劇祭より　東海連合『海獣日和』（作：長谷川彩／演出：鹿目由紀）

●青森県三沢市　8月6日、7日

寺山修司記念館フェスティバル2016／夏

多感な少年時代を過ごした三沢市の記念館で、毎年開催される夏のイベント。初日は森山大道トークショーや渚ようこライブ、2日目は地元の若手アーティストの祝祭「TERAYAMA MUSIC MUSEUM vol.7」を開催。ファミリーに大人気の「寺山修司遊びの劇場～ムシムシコロコロ・パークJr.」では木工造形作家simizzyと遊べる企画を両日行う。

会 問 三沢市寺山修司記念館

Tel. 0176-59-3434

●静岡県三島市　7月9日～18日

ふじのくに野外芸術フェスタ2016 in 三島

今年5月の静岡市・駿府城公園に続き、三島市の街で開催され

る野外芸術フェスティバル。公園、路上など身近な場所でアートに出合えるお祭り。スペインから招聘したカムチャッカ・カンパニーによる「路上パフォーマンス」や、閉園された幼稚園を舞台にした体験型演劇、SPACが贈る現代神楽パフォーマンス『ヤマタノヲロチ!』など盛りだくさんの内容で、日常と違う三島のまちが体験できる。三島市制施行75周年記念事業。
㊔旧・三島市立中央幼稚園、楽寿園 ほか　㊐ふじのくに野外芸術フェスタ実行委員会
Tel. 054-202-3399

●沖縄県那覇市ほか　7月22日～31日

りっかりっか＊フェスタ(2016国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ)

昨年度、「キジムナーフェスタ」から沖縄の方言で「さあ、行きましょう」の意味となる「りっかりっか」に愛称を改め新たなスタートを切った、毎年夏に開催される児童・青少年・親子のための舞台芸術祭。開催当初より東アジア・東南アジアとの繋がりが強く、作品の招聘、共同制作、シンポジウムなどさまざまな形で交流も行われる。メインの沖縄会場と連携し、東京でも一部の作品が上映される。
㊔那覇市、宜野座村各所、あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター) ほか
㊐国際児童青年演劇フェスティバルおきなわ実行委員会
Tel. 098-943-1357

国際共同制作作品
多国籍劇団＊りっか『小さな紳士』

美術

●浜松市　8月6日、7日

鴨江アートバザール

浜松警察署庁舎として1928年に完成した歴史的建物を利用し、2013年に開館したアートセンター全館あげて開催されるアートバザール。「パッチング」をテーマに、アーティストと来館者、日常とアートを繋ぎたいという思いから、15名以上のアーティストが、2日間にわたり多様なアートワークショップを同時開催。1～3階各フロアが「集める、探す」「作る、加工する、集中する」「発表する、交わる、巡る、発見する」と、それぞれテーマ性にあふれた創造的空間となる。
㊔㊐鴨江アートセンター
Tel. 053-458-5360

●広島市　8月18～22日

第16回広島国際アニメーションフェスティバル

1985年の創設以来、2年に一度開催されてきた国際映画祭。「愛と平和」を精神とし、アニメーションメディア文化芸術の振興と、それを通じた異文化交流を志す。国際名誉会長はフランスの巨匠、ジャン=フランソワラギオニー。世界78カ国・地域から応募された2,248作品の中から、一次選考審査を通過した60作品を公開審査するほか、今年は日本のアニメーション大特集も実施。
㊔JMSアステールプラザ
㊐広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会
Tel. 082-245-0245

『大西洋横断』(1978年)
ジャン=フランソワ ラギオニー監督
©Jean-François Laguionie

topics

●オリジナル盆踊りが5年ぶりに復活！ びわ湖ホール「BON★ダンス リーダー育成ワークショップ」

2011年、びわ湖ホール主催の企画として子どもたちとアーティストが共につくるオリジナル盆踊り「BON★ダンス”びわこ平和音頭”」が誕生しました。今夏、その盆踊りが5年ぶりに復活し、誰でも気軽に参加できる「BON★ダンス大会」が8月11日に開催されます。当日は浴衣での参加も歓迎。本番前にはBON★ダンスの振付を手がけた滋賀県在住のダンサー・コレオグラファーの北村成美と共に、大会を盛り上げるリーダーを養成する「育成ワークショップ」が行われます。

このダンスは「滋賀県って?」「琵琶湖って?」というアーティストからの問いに参加者が答える形で歌詞も曲も振付も一から創作した作品で、ホール周辺地域のさまざまな事柄が盛り込まれ、名物などを表す動きを取り入れるなど独自の創作ダンス作品となっています。

「育成ワークショップの参加者にはBON★ダンス大会を先頭にたって盛り上げ、『びわこ平和音頭』を広めるお手伝いをしていただけるリーダーになってもらいたい。地元企業のイメージソングを使用し、店舗等でイベントも行うなどして、新たな層とのつながりも期待できる」と事業担当の水野永遠さん。創作ダンスの動画は同ホールのウェブサイトでもアップされ、8月の本番ではワークショップに参加できない人でも楽しめるようになっています。

●滋賀県大津市　7月29日、30日
㊔㊐滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール
Tel. 077-523-7150　https://www.biwako-hall.or.jp/

前回の「BON★ダンス大会」(2011年)

●広島県竹原市　7月29日～8月26日

～ぶらまちアート～歴史・町・広島竹原藝術祭

江戸時代、竹原の先人は塩や酒で財を成し、現在まで続く町並みを築き上げる。本展は東京藝術大学の学生たちが町並みに作品を展示する。作家(大学生)と創作交流できるワークショップも開催。
㊔森川邸、松阪邸、光本邸 ほか
㊐竹原市教育委員会文化生涯学習課　Tel. 0846-22-7757

●大分県由布市　8月24日～28日

第41回 湯布院映画祭

1976年に始まり、今回で41回目となる日本で最も古くから続

く映画祭。地域住民の協力のもと全員がボランティアによる実行委員会形式によって企画、運営を行う。日本映画のファンと作り手が出会う場としての映画祭をコンセプトに、日本映画をさまざまな角度から特集した企画や短編映画の上映会などを、ゲストによる舞台挨拶やシンポジウム、パーティを交えて実施。
会JR九州由布院駅の駅前広場、由布市湯布院公民館、湯平ふれあいホール
問湯布院映画祭大分事務局
Tel. 097-532-2426

●沖縄県糸満市　6月3日～26日

マブニ・ピース・プロジェクト沖縄 2016

昨年、「慰霊の日」のある6月に、沖縄県在住の美術家が世代を超えて集結し、沖縄戦の記憶を色濃くとどめる摩文仁の地から、アートを媒介とした平和のメッセージを発信した「マブニ・ピース・プロジェクト」。戦後70年の企画に終わらせずに、今年は「響く・つながる・創造する　いのち」という全体テーマの下、23名の美術家が平和と鎮魂を表現した作品を展示、上映している。
会沖縄県平和祈念資料館、沖縄平和祈念堂、平和祈念公園内 ほか
問すでぃる－Regeneration プロジェクト実行委員会
Tel. 090-5939-1577

上原秀樹《milestone 2016 ～希望の芽Ⅱ～》 展示場所：公園・青空サイト（平和祈念公園屋外）

総合

●全国各地　6月11日～10月10日

アサヒ・アート・フェスティバル 2016

全国の市民グループやアートNPO団体などが主体となって企画・運営し、“地域”の魅力を引き出し、コミュニティの再構築を目指す今年15年目を迎えるアートフェスティバル。フェスティバルを通して独自の交流支援プログラムを積み重ね、参加団体スタッフやアーティストが出会い、ネットワークを形成していくことを目指す。今年はジャンルも形態もさまざまな国内外40のプロジェクトが集結。海外開催はこれまで韓国のみだったが、今年から新たにフィリピンも加わった。成果発表とディスカッションを行う「AAF2016報告会」は11月26日、27日に静岡県熱海市の熱海芸妓見番にて開催予定。
会全国各地、韓国・フィリピン
問AAFネットワーク実行委員会事務局　Tel. 03-6273-0002

「Exchange by Devil Fish-Takoyaki!!」（団体名：Team Exchanger Philippine-Japan／開催地域：フィリピン各地、横浜市、京都市上京区、大阪市天王寺区）

●大分県大分市　8月6日、7日、9日

Tanavata Starlight Express 2016

大分県立美術館・iichiko総合文化センター・おおいた国際交流プラザが、地域活性化とネットワークの構築を目的に、近隣商店街や教育等の関係団体と協働して毎年開催しているイベント。在住外国人による民族衣装パレードや、美術館アトリウムでの音楽コンサートなどが予定されている。
会大分市中心部商店街 ほか
問大分県芸術文化ゾーン創造プロジェクト実行委員会
Tel. 097-533-4011

ホール・美術館
夏休み子ども企画カレンダー

ジャンル別に、開催地、日程、事業名、事業内容の順に掲載しています。
会は会場、問は問い合わせ先です。
（〜は地域創造助成事業）

音楽・演劇・ダンス

●宮城県名取市　7月30日

Art for Kids @なとり　わくわく楽しい音楽会―旅する作曲家のドキドキ旅行記―

音楽教育プログラム「Art for Kids @なとり」として毎年名取市内の全小学校の4年生を対象にアウトリーチを実施し、その一環で夏休みに開催しているファミリーコンサート。今年度から仙台フィルハーモニー管弦楽団と音楽事業提携協定を締結し、6月の全校アウトリーチは同フィルコンサートマスターの二人のヴァイオリニスト・神谷未穂と西本幸弘が“対話型鑑賞”の手法により取り組んできた。コンサートには二人を中心とした仙台フィルメンバーが出演する。
会問名取市文化会館
Tel. 022-384-8900

●茨城県日立市　7月18日

子どもオペラ学校ワークショップ成果発表会「“魔笛”に出会った子どもたち」

2006年から実施しているオペラ体験プログラム。8回目の今回は「考える」「理解する」「伝える」をテーマに、3月から小学3年生～中学2年生の28人が『魔笛』の曲を歌う音楽ワークショップ、お面づくりから作品を理解する美術ワークショップ、踊りや演技で身体表現をする表現ワークショップで『魔笛』を体感する。子どもたちが自分たちなりに解釈した『魔笛』を成果発表会で表現する。
会問日立シビックセンター
Tel. 0294-24-7711

●埼玉県富士見市　7月25日～31日

キラリふじみ・ワークショップ夏休みこども劇場「えんげきをつくろう」

小学3～6年生を対象とした夏休み恒例の演劇ワークショップ。講師は俳優・NPO法人演劇百貨店メンバーで劇場や学校、美術館などで演劇ワークショップのファシリテイターとして活躍している南波圭。仲間たちと1週間楽しく演劇づくりを学びながら、自分が感じたこと、伝えたいことを形にし、最終日のミニ発表会で成果を披露する。
会問富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ　Tel. 049-268-7788

昨年のワークショップ

●東京都台東区　8月7日

夏休み子供音楽会2016

毎年恒例の親子向け夏休みコンサート。演奏は東京都交響楽団、指揮・お話は大井剛史。当日は国立西洋美術館や上野の森美術館、東京国立博物館、上野動物園など、上野公園の9つの文化施設と近隣エリアを「上野1dayパス」を使って1日中楽しめる。当日は0才から参加できる「ミュージック・ワークショップ」(→P16参照)やバックステージツアーも開催。
会問東京文化会館
Tel. 03-3828-2111

●東京都国立市　7月29日
くにたち芸小こども寄席 その6
小学生を対象とした夏休み恒例の落語入門企画。落語への関心喚起とお客さんの前で発表する挑戦心を応援する。落語家が作成したオリジナルテキストを事前に配布し、その中から選んだ噺に落語家が直接稽古をつける。講師は「くにたちすたじお寄席」にもレギュラー出演中の立川らく次と立川志獅丸。
会問くにたち市民芸術小ホール
Tel. 042-574-1515

こども寄席 その4(2014年7月)

●横浜市　8月10日～13日
三ツ橋敬子の「新☆夏休みオーケストラ!」みんなでワクワク!編
家族いっしょにオーケストラの魅力を楽しめる夏休み恒例の企画。今年からヨーロッパを拠点に活躍している指揮者・三ツ橋敬子を迎え、神奈川フィルハーモニー管弦楽団のコンサートを中心に、バックステージ・ツアーや音楽づくりワークショップ、公開リハーサル、指揮者との交流、ホールスタッフ・広報活動体験などバラエティに富んだプログラムで、オーケストラやホールにより親しみを感じてもらう。
会問神奈川県立音楽堂
Tel. 045-263-2567

昨年の様子　©青柳聡

●長野県松本市　7月31日
THE鍵盤フェスタ!～あなたはどのケンバンがお好き?～
ホールが所有する3種類の鍵盤楽器(パイプオルガン、チェンバロ、ピアノ)の魅力をわかりやすく紹介する夏休み恒例の企画。コンサートでは各楽器の仕組みや音色の違いをプロの演奏者がトークと名曲の演奏で紹介。同じ曲の弾き比べやめったに見られない3種類のアンサンブルも披露される。体験コーナーでは3つの楽器をすべて弾くことができるほか、パイプオルガン内部見学やチェンバロのペーパークラフトづくりなども実施。
会問松本市音楽文化ホール(ザ・ハーモニーホール)
Tel. 0263-47-2004

●岐阜県多治見市　7月23日
100人のプレミアムなセカイvol.38「kajiiとあそぼう おもしろ楽器コンサート&楽器作りワークショップ」
「息遣いのわかる距離で来場者とアーティストが結ばれる」をコンセプトに開催しているコンサートシリーズ。今回は茶碗など日用品を使ってクラシックなどを奏でるユニークな演奏活動で話題を集める名古屋のユニット「kajii(カジー)」が登場。ワークショップで缶を使ったオリジナル楽器をつくり、コンサートでkajiiと共演する。
会問多治見市笠原中央公民館アザレアホール
Tel. 0572-43-5155

●静岡市　8月4日～6日
グランシップ世界のこども劇場2016
子どもたちに上質な舞台芸術を届け、世界各国の文化や人々にふれる機会をつくる舞台芸術プログラムとして2010年よりスタート。今年はベルギーやセルビアなど海外4団体が参加するほか、初めて日本の伝統芸能を取り上げ、和泉流狂言方による公演とワークショップも行われる。7月31日には「子供のためのシェイクスピア『オセロー』」も開催。
会問静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」
Tel. 054-289-9000

●愛知県豊田市　7月30日
豊田市ジュニアオーケストラ結成20周年記念公演「第28回定期演奏会 サマー・コンサート」
結成20周年を迎えた豊田市ジュニアオーケストラの夏期恒例の定期演奏会。今回は、三浦文彰(ヴァイオリン)をゲストに迎え澤和樹の指揮の下、モーツァルトの歌劇『フィガロの結婚』序曲などを演奏する。小学4年生から大学生までの66人で構成される同オーケストラは、音楽学校に通うプロの卵も多く所属している。翌31日には20周年を記念して東京公演(紀尾井ホール)も行われる。
会問豊田市コンサートホール・能楽堂　Tel. 0565-35-8200

豊田市ジュニアオーケストラ

●愛知県長久手市　6月11日～8月7日
おんぱく2016～この夏、長久手に音楽の王国が現れる!
長久手市の夏の風物詩として定着しているクラシック音楽イベント。6月～8月にかけて、地元で活躍する音楽家たちが児童館やモリコロパーク、リニモ(愛知高速交通)車内など市内約20カ所でパフォーマンスを繰り広げる。最終日は文化の家が“丸ごと一日音楽テーマパーク”に。この日のために各地から集まったプロフェッショナル集団・おんぱくスペシャルオーケストラによるコンサートやワークショップなど、さまざまなプログラムが行われる。
会長久手市文化の家ほか市内各所
問長久手市文化の家
Tel. 0561-61-3411

昨年のファイナルコンサート

●愛知県内各所　6月22日～10月2日
2016ジョイントフェスティバル 愛知～子どもの笑顔は大人の笑顔　輝く子どもが未来をひらく～
愛知県内の広域的な協働によ

topics

●10回目の開催を迎える伝統の国際フェスティバル「とやま世界こども舞台芸術祭2016」

1983年に始まった「富山国際アマチュア演劇祭」はモナコ、ドイツと並んで世界三大アマチュア演劇祭として国際認知度が高まり、2008年からは「とやま世界こども舞台芸術祭」と名称を変更し4年ごとに開催してきました。

今回で記念すべき10回目となる同フェスティバルでは、海外五大陸より23カ国・地域から26団体が出演します。バレエや演劇、人形劇など多彩なジャンルの舞台芸術を通して、友情の輪を広げます。香港やスリランカ、ベトナムからの参加は今回が初。県外からは北海道や東京、福岡などの16団体が出演します。

運営には県内中高生から成るジュニアボランティア国際交流員も研修を踏まえて参加し、英語と日本語での“影アナ”や舞台の司会進行、各国の展示ブースでスタッフを務める国際交流体験ができます。

「30数年継続して世界の舞台芸術と交流をもち続けてきたことにより、富山の認知度が海外でも広がったこと、また本芸術祭で関わった県民の子どもたちが成長して宝塚歌劇団や東京のプロの演劇人になったことや、チェコのボヘミアバレエ団に日本人初として活躍する実績も生まれ、国内と世界に富山の舞台芸術が確かな広がりを形成できていることを嬉しく思います」と事務局長の市井和彦さん。芸術祭によって育まれる国際交流と舞台芸術の可能性に今後も期待が寄せられます。

●富山県富山市、高岡市　7月30日～8月4日
会 富山県民ホール、富山県高岡文化ホール、富山県教員文化会館、富山芸術文化ホール　ほか
問 とやま世界こども舞台芸術祭実行委員会
Tel. 076-441-8635（内線123）　http://www.tiatf.or.jp/

国際コラボレーション作品『マッチ売りの少女』（プラハ・ボヘミアバレエ団と可西舞踊研究所の合同公演）

って地域文化の再生と活性化、コミュニティの再構築、そして子どもたちにさまざまなジャンルの舞台芸術を届けることを目的に2013年にスタートしたフェスティバル。複数の自治体が企画立案から協働することで、単独では開催が困難な文化事業を展開している。今年度はスウェーデンより「シアター・ペロ」と「シアター・トレ」の2劇団を招聘するほか、国内団体による音楽・演劇・ダンス・人形劇など幅広いプログラムを開催する。
会 愛知芸術文化センター、うりんこ劇場、おおぶ文化交流の杜アローブ、幸田町民会館、豊川市音羽文化ホール、豊川市御津文化会館、長久手市文化の家、名古屋文理大学文化フォーラム、西尾市文化会館、碧南市芸術文化ホール、みよし市文化センター サンアート ほか
問 2016ジョイントフェスティバル愛知協議会
http://www.j-fes.net/

●京都市　7月23日～8月7日

夏休み芸術体験教室

夏休み期間中、小中学生や高校生に、伝統音楽や伝統芸能などに実際にふれ、楽しみながら学んでもらう。邦楽（箏・尺八）、日本舞踊、能楽（仕舞、笛・小鼓・大鼓・太鼓）を4～5日間じっくりと稽古を重ね、各教室ごとに成果を発表する。能楽は大江能楽堂の本舞台で公演を行う。
会 京都芸術センター、大江能楽堂
問 京都市芸術文化協会
Tel. 075-213-1003

●兵庫県伊丹市　7月22日～24日（ダンス）、29日～31日（演劇）

こどものための夏休みワークショップ

小学3～6年生に表現する楽しさを体感してもらう夏期恒例のワークショップ。講師は各地でさまざまなワークショップを手がける砂連尾理（ダンサー・振付家）と林慎一郎（劇作家・演出家／極東退屈道場）。ダンスでは、“伊丹の歌”をつくってそれに合わせて踊り、映像作家が撮影してプロモーションビデオに。演劇では、さまざまな表現を体験しながら“めっちゃもりあがる遊び”を開発する。
会 問 アイホール（伊丹市立演劇ホール）　Tel. 072-782-2000

●兵庫県川西市　7月2日～8月18日

ダンス・ワークショップ「みんなで踊ってみよう！」2016夏

身体を動かすこと、表現することの楽しさ、ステージに立つことの高揚感を味わうことをコンセプトに開催している夏休み恒例のダンスワークショップ。講師はみつなかオペラなどの振付も手がける生駒里奈。小学生クラス（4～6年生）、一般（中学生～）、シニアクラスの3コースを設け、最後の3日間は全クラス合同で練習し、最終日にホールで成果を披露する。
会 川西市みつなかホール ほか
問 川西市みつなかホール
Tel. 072-740-1117

●福岡県大野城市　7月21日

お芝居×ナゾ解き×バックステージツアー「大野ジョー☆一座危機一髪!?～ハッピーエンドをとりもどせ～」

大野城まどかぴあ開館20周年記念事業「まどかぴあ誕生祭」のプログラム。この日のためにつくられたお芝居（作は福岡の劇団、非・売れ線系ビーナス）のストーリーに沿って、館内に散らばる“ナゾ”を解いたり、大ホールの裏側を探検するなど、演劇の面白さとホールの秘密を同時に体験できるイベント。見事謎解きをクリアすれば“まどかぴあマスター”認定証が授与される。
会 問 大野城まどかぴあ
Tel. 092-586-4000

●福岡県宗像市　7月24日

宗像ミアーレ音楽祭2016プレイベント「ジャジャジャジャーンで始まる！わくわく・ドキドキ♥オーケストラ体験!!」

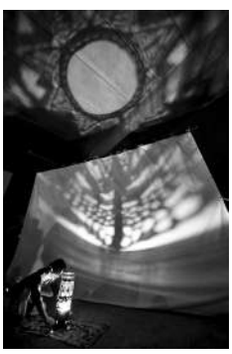
10月に開催される「宗像ミアーレ音楽祭」のプレイベントとして開催する体験型コンサート。子どもたちが九州交響楽団の

弦楽器奏者と合奏にチャレンジしたり、ベートーヴェン『運命』の秘密に迫る音楽ワークショップなどが行われる。当日は観客の案内やプログラムの配布、開演前のアナウンスなどをする「キッズスタッフ」を募集。
会 問 宗像ユリックス
Tel. 0940-37-1311

●長崎県佐世保市　7月24日
子どものためのピアノのひみつ基地
ピアニスト・中川賢一によるレクチャーコンサート。『月の光』や『展覧会の絵』などお馴染みの名曲の演奏を交えながら、ハンマーの動きなどがよくわかるアクションモデルによって音の出る仕組みを解説したり、舞台に上がってピアノに触れたり下に潜ったりしてどれほど振動しているか体感するなど、ピアノの秘密をわかりやすく解説。コンサートに合わせて、中学生対象の「ホールスタッフ・ワークショップ」も実施。実際に受け付けやもぎりなどフロントから音響や照明などテクニカルまでホールの仕事を体験する。
会 問 アルカスSASEBO
Tel. 0956-42-1111

美術

●横浜市　7月29日～8月7日
あざみ野こどもぎゃらりぃ2016
子どもたちがアーティストや表現と出合うことを目的に毎夏開催している展覧会。11回目となる今回は、川村亘平斎の影絵のインスタレーション作品と後藤楯比古の日用品を動物に見立てた造形作品を展示。身近なものをユニークな視点で見るふたりの美術家の作品を紹介する。アーティストによるワークショップのほか、最終日には川村亘平斎と田中肇による影絵の公演も行われる。ほかに、近隣小学校へのアウトリーチや、事前ワークショップで子どもたちが撮影・プリントした写真が成果発表として展示される。
会 問 横浜市民ギャラリーあざみ野
Tel. 045-910-5656


川村亘平斎《川村亘平斎の影絵と音楽》（コミュニティーステーション東小金井／2014年）

●滋賀県大津市　6月28日～8月28日
夏休み子ども美術館「ヒトツがならんでイッパイふえて」
夏休みを含む期間、テーマを設定して、現代美術から小倉遊亀コレクションまでの所蔵品の魅力を子どもや初心者にわかりやすく伝える展覧会。今年は美術の基本要素である「数」や「順列」「反復」をテーマに現代美術から日本画まで約60点を展示。一つひとつに趣向を凝らしたクイズが設けられ、知的好奇心を刺激されながらさまざまな方向から作品を鑑賞することで、知らず知らずのうちに作品を観る目が育ってゆく。
会 問 滋賀県立近代美術館
Tel. 077-543-2111

●和歌山県和歌山市　7月2日～9月19日
なつやすみの美術館6「きろく と きおく」
夏休みを利用して子どもたちが美術にふれるきっかけをつくり、作品の見方を学ぶ展覧会。教職員を目指す和歌山大学の学生などと連携したワークシートの作成や鑑賞ツアー、ワークショップ、手を動かして作品を見る大人も参加可能な「こどもギャラリートーク」などを実施。今回は記録と記憶をテーマに作品を展示。
会 問 和歌山県立近代美術館
Tel. 073-436-8690

●広島市　7月16日～9月11日
夏のワークショップ・プロジェクト2016「あちらの世界？ こちらの世界？？」
夏休みに、観るだけでなく、現代美術の面白さや創造することの楽しさを体感してもらう長期ワークショップ型展覧会。今年は身近なものでつくられた日常とは異なる世界をテーマに、新聞紙とガムテープで大きなものから繊細な細工までさまざまな造形物を作る関口光太郎、布やプラスチックで小さな生き物をつくるスサイタカコを迎え、いろいろな方法で参加・体験できる作品・インスタレーションを展示。アーティストによるワークショップなども行われる。
会 問 広島市現代美術館
Tel. 082-264-1121

●山口県山口市　6月18日～9月4日
コロガルガーデン
子どもが自発的に“遊び”を発想し、創造力を育む環境として2012年に開発され、以降も札幌や東京など各地で開催されてきた「コロガル公園シリーズ」の最新版。大小異なるサイズのブロック群、ホワイエに設置された緩やかな流線形を描く巨大な滑り台、性格の異なる2つの空間は、未就学児から大人まで、幅広い年齢層が楽しむことのできるようデザインされている。シリーズを通して実施している「子どもあそびばミーティング」で、子どもたちを中心にYCAMスタッフと共にガーデンに追加したい機能を議論。採用されたアイデアは、後日新しい機能として会場に追加される。
会 問 山口情報芸術センター［YCAM］　Tel. 083-901-2222

総合

●東京都豊島区　7月2日～8月28日
としまアート夏まつり2016
子どもも大人も一緒にアートを楽しめる恒例の夏休み企画。毎年2,000人近い動員を誇る「子どもに見せたい舞台」シリーズは、吉田小夏（劇団「青☆組」）の脚本・演出によりエンデの『モモ』を舞台化（8月13日～21日）。劇的な演出をほどこした「おばけ教室」、短編アニメーションを壁面に映す「夜空の校庭上映会」など、廃校を活用したにしすがも創造舎ならではのプログラムは、閉館に伴い同館では今年が最後の開催。ほかにも区内各所でのリーディング公演、ダンスやお芝居づくりワークショップなどさまざまなプログラムが行われる。
会 にしすがも創造舎、あうるすぽっと（豊島区立舞台芸術交流センター）ほか　問 としま文化創造プロジェクト実行委員会（にしすがも創造舎内）
Tel. 03-5961-5200

●神奈川県横須賀市　8月13日
2016オープンデー
会館のことをよく知ってもらおうと2012年から夏休みに開催しているホール開放イベント。映画上映や読み聞かせ、各種ワークショップなど、主に子どもを対象としたバラエティに富んだプログラムが館内各所で行われる。
会 問 横須賀市はまゆう会館
Tel. 046-852-1166

地域通信

●データの見方
情報は地域ブロック別に、開催地の北から順に掲載してあります。●で表示してあるのは開催地です。☜マークが付いている事業は地域創造の助成事業です。ラインの下は、事業運営主体、住所、電話番号、担当者名の順に記載してあります。色帯部分が事業名で、以下、内容を紹介しています。

●地域ブロック
[北海道・東北]北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
[関東]茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
[北陸・中部]新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
[近畿]三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
[中国・四国]鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
[九州・沖縄]福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

●情報提供先
ファックス、電話、e-mailでお願いします。
Fax. 03-5573-4060　Tel. 03-5573-4066
letter@jafra.or.jp
地域創造情報担当　宇野・小川

●2016年9月号情報締切
8月1日(月)

●2016年9月号掲載対象情報
2016年9月～11月に開催もしくは募集されるもの

地域創造ウェブサイト「人材ネットバンク」掲載情報募集中
当財団ウェブサイト内に以下の情報を掲載するページを設けています。
◎公共ホール等の求人情報
◎公共ホール等で実施する人材育成研修の開催情報
掲載・申込方法など詳細はウェブサイトをご覧ください。　http://www.jafra.or.jp/

北海道・東北

●札幌市
札幌芸術の森(札幌市芸術文化財団)
〒005-0864　札幌市南区芸術の森2-75
Tel. 011-591-0090　細川清映
http://www.artpark.or.jp/

札幌芸術の森30周年記念展「北の織　いま昔」
古くから伝わるアイヌのアットゥシ織、明治期に開拓使の奨励策のもと広がった絹織物、大正末から始められた羊毛によるホームスパンなど、北海道の織の歴史を、材料や道具、見本帳等の多くの資料とともに紹介。また、現代の織として、北海道を代表する3つの工房と25名の個人作家による多彩な作品を展示し、“北の織の世界”を概観する。
[日程]7月16日～9月25日
[会場]札幌芸術の森工芸館

●北海道斜里町 ☜
斜里町公民館 ゆめホール知床
〒099-4113　斜里郡斜里町本町4
Tel. 0152-22-2222　結城みどり
https://www.town.shari.hokkaido.jp/05institution/10kyouiku_bunka/2012-0414-1533-66yumetop.html

アンサンブルグループ奏楽コンサート～奏楽と音楽でつながる子どもたち
平成30年に迎える開館20周年に向けた3カ年のプロジェクト。地域アーティストグループ「奏楽(そら)」によるレクチャーコンサート、吹奏楽クリニックや福祉施設等での出張演奏などの交流プログラムを実施し、クラシック音楽の裾野を広げる。7月17日に開催するコンサートでは、吹奏楽クリニックの成果発表として、地元の子どもたちとの合同演奏も行う。2年目は地元合唱団にもアプローチし、3年目に向け規模を拡大させていく予定。
[日程]7月17日
[会場]斜里町公民館 ゆめホール知床

斜里ジュニアバンドのアルトホルン指導

●宮城県加美町 ☜
中新田バッハホール
〒981-4262　加美郡加美町字一本杉101
Tel. 0229-63-7367　佐々木・澁谷
http://www.town.kami.miyagi.jp/events/index.cfm/detail.7.7480.html

バッハホール管弦楽団 第3回定期演奏会
今年2月に開館35周年を迎えた中新田バッハホールが、平成26年度に創設した一般市民で構成するバッハホール管弦楽団の3回目の定期演奏会。子どもからお年寄りまで幅広い年齢層が団員として登録している。今回はチャイコフスキー「交響曲第5番」やハチャトゥリアン『ガイーヌ組曲』より“剣の舞”など、誰にでも聞き覚えのある曲を演奏する。
[日程]7月10日
[会場]中新田バッハホール

関東

●群馬県館林市
群馬県立館林美術館
〒374-0076　館林市日向町2003
Tel. 0276-72-8188　神尾玲子
http://www.gmat.pref.gunma.jp/

再発見！ニッポンの立体
土偶や円空仏、神社の狛犬などの江戸時代以前の表現を序章として、明治以降に西洋の彫刻に刺激を受けた日本の多様な立体造形を、「西洋との出会い」「似せることへの志向」「似せることの対極」など6章構成で展示。食品サンプルやゆるキャラ、民芸人形、フィギュアまでをも含む、ジャンルを超えた多彩な造形表現約160点によって、日本固有の美意識を探る。
[日程]7月16日～9月19日
[会場]群馬県立館林美術館

●東京都台東区
東京都美術館
〒110-0007　台東区上野公園8-36
Tel. 03-3823-6921　田村麗恵
http://90th.tobikan.jp

開館90周年記念展「木々との対話―再生をめぐる5つの風景」
1926年、上野公園に開館した東京都美術館の開館90周年を記念した企画展。5名の現代の作家(國安孝昌、須田悦弘、田窪恭治、土屋仁応、舟越桂)の作品により、身近で伝統的な「木」という素材による表現の奥深さを体感してもらおうとするもの。3.11から5年を経た今年、「木と再生」をキーワードに、多様な表現が並ぶ。
[日程]7月26日～10月2日
[会場]東京都美術館

北陸・中部

●富山県黒部市
黒部市国際文化センターコラーレ
〒938-0031　黒部市三日市20
Tel. 0765-57-1201　松村陽介
http://www.colare.jp/

コラーレ キーボードオーケストラ 17thコンサート
1995年7月に結成され、昨年創設20周年を迎えたシンセサイザーだけのオーケストラ。富山県出身の音楽家・滝沢卓らを講師に迎え、毎年定期コンサートを開催。また市内各地のイベントにて公演を行っている。今年は富山在住の二胡奏者・張鶴とのコラボレーションのほか、オリジナ

ルアレンジや馴染みの深い曲など、多彩な曲目を演奏。
[日程]7月3日
[会場]黒部市国際文化センターコラーレ

●岐阜県岐阜市
サラマンカホール
〒500-8384　岐阜市薮田南5-14-53
Tel. 058-277-1113　森有理枝
http://salamanca.gifu-fureai.jp/

サラマンカホール夏の特別プロジェクト 5周年記念コンサート「動物の謝肉祭」

フルート奏者の工藤重典を音楽監督に迎え毎年恒例となっている「夏の講習会」。開講5周年を記念して、岐阜県美術館でのサテライトコンサートや、様々な楽器による公開レッスン等を行い、特別プロジェクトとしてサラマンカ少年少女合唱団による谷川俊太郎の詩の朗読とともに「動物の謝肉祭」を演奏する。
[日程]7月2日、3日
[会場]サラマンカホール

●富山県高岡市
高岡市美術館
〒933-0056　高岡市中川1-1-30
Tel. 0766-20-1177　竹内唯
http://www.e-tam.info/

生誕100年 村上炳人展 ―造形を詩う

高岡出身の彫刻家・村上炳人(へいじん)(1916～97)の生誕100年を記念した展覧会。20代では長く戦地で過ごし、戦後「日本の民族の伝統のある大切なもの」を究めるため京都に移住し、二紀展に舞台を移して活躍。東洋と西洋、古典と現代、具象と抽象の間を自在に往来する多彩な作品を生み出した。生涯を通じて立体表現の神髄を探究した炳人の創作の全貌を紹介する。
[日程]7月15日～8月28日
[会場]高岡市美術館

中国・四国

●広島県廿日市市
はつかいち平和の祭典実行委員会
〒738-8509　廿日市市下平良1-11-1(廿日市市生涯学習課内)
Tel. 0829-30-9203　重村幸雄
http://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/soshiki/58/20121.html

はつかいち平和コンサート2016「平和の響き、共生の風、―はつかいち…から。」

廿日市市在住のプロ音楽家とアマチュアの共演、育成を目的として1989年より開催されているコンサート。平和への願いを込めて公募により結成された市民合唱団「はつかいち平和コンサート合唱団2016」、プロで編成する「はつかいち・ピース・メモリアル・アンサンブル」やジュニアと一般のオーケストラなど、地元の音楽家・松本憲治の指導の下、平和に結びつく曲目を披露する。
[日程]7月23日
[会場]はつかいち文化ホールさくらぴあ

●山口県美祢市
秋吉台国際芸術村
〒754-0511　美祢市秋芳町秋吉50
Tel. 0837-63-0020　村田真一
http://aiav.jp/akiyoshi_summer

現代音楽セミナー&フェスティバル 秋吉台の夏2016

滞在型創作活動の拠点として1998年にオープンした秋吉台国際芸術村で毎年開かれているフェスティバル。「教育プロジェクト型アウトリーチ」など地域との関わりに視野を広げるほか、現代音楽のコンサートやイタリア在住の指揮者・作曲家である杉山洋一による自作指揮マスタークラスなど、さまざまな特色あるプログラムが予定されている。
[日程]8月18日～23日
[会場]秋吉台国際芸術村

●徳島県徳島市
徳島県立近代美術館
〒770-8070　徳島市八万町向寺山(文化の森総合公園内)
Tel. 088-668-1088　竹内利夫
http://www.art.tokushima-ec.ed.jp/

暮らしの感覚 アートと人とデザインが交流する空間

季節や家庭など身近なテーマの絵画や彫刻を、居心地を工夫したさまざまな空間で鑑賞する展覧会。気に入った椅子を選んで座る、器の手触りから暮らしの感覚を思い起こすといったデザインのふれあいをきっかけとして、来館者に自分なりのホッとするひとときや居場所を見つけてもらい、美術館の新たな過ごし方を提案する。
[日程]7月16日～9月4日
[会場]徳島県立近代美術館

九州・沖縄

●北九州市
北九州芸術劇場
〒803-0812　北九州市小倉北区室町1-1-1-11
Tel. 093-562-2620　高橋・末永
http://www.kitakyushu-performingartscenter.or.jp/

合唱物語「わたしの青い鳥2016」

幅広い年齢層の市民がつくり上げる合唱公演。モーリス・メーテルリンクの名作『青い鳥』にオリジナルの詞と歌を付け、市民の合唱で綴る『わたしの青い鳥』は劇場の人気企画として愛され続け、今回で13回目を迎える。これまで延べ900人以上の市民が参加。プロのアーティストの指導の下、約1カ月半のワークショップを重ねた成果を披露する。
[日程]7月10日
[会場]北九州芸術劇場

●大分県大分市
iichiko総合文化センター
〒870-0029　大分市高砂町2-33
Tel. 097-533-4004　植田・橋本
http://www.emo.or.jp/

ミュージカル体験ワークショップ

ミュージカルの普及を目的に、平成22年度から野口アキラなど東京で活躍している講師を招き、ブロードウェイミュージカルを体験するワークショップを継続開催。今回から小学生の部を低学年と高学年に分け、さらに多くの希望者を受け入れる。県内最大規模の夏祭り「大分七夕まつり」で成果発表するほか、来年3月にはこれまでの15回の集大成として、ホールを使用した本格的なレビュー公演を開催する。
[日程]7月27日～31日
[会場]iichiko総合文化センター

昨年の成果発表(iichikoアトリウムプラザ)

講座・シンポジウムなど

「オリンピック・パラリンピック基本方針推進調査」に係る試行プロジェクト

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会への関心を高め、文化を通じた機運醸成に資するプロジェクト(2016年度事業を全国で約30件)を委託として公募する。応募要件は、事業の実施を通じて次世代に残すべき遺産(レガシー)を提示していること。
[二次応募締切]7月11日 17時
[問い合わせ]日本貿易振興機構(ジェトロ)　オリンピック・パラリンピック推進課
Tel. 03-3582-5313
https://www.jetro.go.jp/news/announcement/2016/d552f91effe38139.html

財団からのお知らせ

●「地域創造フェスティバル2016」参加者募集

地域創造が取り組んでいるさまざまな事業を紹介するとともに、公共ホールや自治体の皆さんが事業を企画・実施する上で参考となる情報を提供することを目的として、8月2日から4日までの3日間、東京芸術劇場（東京都豊島区西池袋1-8-1）を会場に「地域創造フェスティバル2016」を開催します。詳細は同封のちらしをご覧ください。全国の皆様のご参加をお待ちしております。

※事前申し込み制です。詳細は左記要領をご覧ください。 **募集締切：7月22日（金）必着**

●「地域創造フェスティバル2016」
［日程］8月2日（火）～4日（木）
［会場］東京芸術劇場（東京都豊島区西池袋1-8-1）
［申し込み方法］下記URLから参加申込書（Excelファイル）をダウンロードし、必要事項をご記入の上、件名を「地域創造フェスティバル参加希望」とし、メールにてお申し込みください。
［URL］http://www.jafra.or.jp/j/guide/box/
［メールアドレス］festival@jafra.or.jp
［問い合わせ］芸術環境部
江坂・工藤
Tel. 03-5573-4073

地域創造フェスティバルのみどころ

◎公共ホール音楽活性化事業（おんかつ）

「おんかつ支援プレゼンテーション」では、おんかつ支援の登録アーティストたちが、音楽との新しい出会いを地域へ届けるため工夫を凝らした演奏とトークを、一組20分の持ち時間の中で披露します。

「おんかつフォローアップセミナー」は、公共ホール事業担当者向けの「基礎コース」「発展コース」と一般公開の「オープンセミナー」を開催。基礎および発展コースでは、ワークショップやグループワークを通じ、新たな事業展開を検討します。オープンセミナーでは、公共ホールが地域のアーティストと協力しアウトリーチ事業を進める中での課題について、全国の事例を基に考えます。

◎公共ホール現代ダンス活性化事業（ダン活）

アーティストプレゼンテーションとセミナーを開催します。

プレゼンテーションでは、平成29年度ダン活登録アーティストによるダンスパフォーマンスや、ワークショップのデモンストレーションを実施します。

セミナーでは、ダン活事業を経験したホール担当者から、その取り組みの事例をご紹介いただきながら、コンテンポラリーダンスのもつ力がどのように地域で生かされ、ダンスと地域がどのように繋がることができるのか、ダンスの魅力を探ります。また、平成29年度よりリニューアルする事業の概要説明も行います。

◎共通シンポジウム

平成26・27年度の2カ年で実施された「地域における文化・芸術活動を担う人材の育成等に関する調査研究」の成果を報告します。参考事例の収集・分析および現地調査やグループインタビューを通じて見えてきた課題と傾向、求められる「文化的コモンズ」の形成のために必要な人材像とその育成について、調査研究委員会等のメンバーから提言と活用の経緯や成果などについて報告していただきます。

「地域創造フェスティバル2016」プログラム

＊詳しいプログラム内容やタイムスケジュールは同封チラシをご覧ください

8月2日（火）	8月3日（水）	8月4日（木）
●共通シンポジウム ［調査報告］大澤寅雄 ［パネリスト］調整中 ［モデレーター］吉本光宏	●ダン活セミナー「ダン活のススメ」 ［講師］小松千佳・佐藤みどり（酒田市民会館 希望ホール）、三浦康晃（なかまハーモニーホール） ［コーディネーター］佐東範一、花光潤子	●助成要綱説明会
●ダン活プレゼンテーション 鈴木ユキオ、田畑真希、赤丸急上昇、東野祥子、田村一行、セレノグラフィカ	●おんかつフォローアップセミナー 山本若子、小澤櫻作、花田和加子、丹羽徹	●おんかつフォローアップセミナー 山本若子、小澤櫻作、花田和加子、丹羽徹
●おんかつフォローアップセミナー 絹川友梨	●おんかつセミナー　オープンセミナー 小澤櫻作、田村緑、花田和加子、榎本広樹、田上朋子、児玉真	
●おんかつ支援登録アーティストプレゼンテーション ［ピアノ］久保田葉子、三上徹　［弦楽器］北島佳奈、高橋和歌、瀧村依里、海野幹雄　［管楽器］森岡有裕子、神代修、加藤直明　［声楽］渡邊史、菅家奈津子、吉川健一　［打楽器］前田啓太　［その他］福島青衣子、片岡リサ、益田正洋、松尾俊介、江崎浩司　［アンサンブル］Dual KOTO×KOTO、Quatuor B、Buzz Five	●おんかつ支援登録アーティストプレゼンテーション ［ピアノ］新居由佳梨、今野尚美、佐々木京子、白石光隆、田村緑、中川賢一　［弦楽器］礒絵里子、大森潤子、小野明子、早稲田桜子、奥田なな子　［管楽器］岩佐和弘、岩間丈正、藤田旬、田村真寛、高見信行　［声楽］大森智子、乗松恵美、黒田晋也、中井亮一　［打楽器］浜まゆみ、野尻小矢佳　［アンサンブル］デュエットゥ かなえ＆ゆかり、Quartet SPIRITUS、BLACK BOTTOM BRASS BAND	●おんかつ支援登録アーティストプレゼンテーション ［ピアノ］新崎誠実、泊真美子 ［弦楽器］荒川洋、吉岡次郎、大石将紀 ［声楽］沢崎めぐみ、廣田美穂、村上敏明 ［打楽器］大熊理津子 ［アンサンブル］Duo Yamaguchi、デュオ・レゾネ、Quintet H

●平成28年度「邦楽地域活性化事業」全体研修会参加者募集

平成28年度邦楽地域活性化事業では、島根県益田市の島根県芸術文化センター「グラントワ」いわみ芸術劇場を会場に、邦楽のアウトリーチやワークショップの可能性についてのレクチャーや、前回参加演奏家によるアウトリーチデモンストレーションなどを行う研修会を、8月25日(木)に開催します。

この研修会は、事業実施者、アウトリーチ先の学校関係者などを対象に、本事業の趣旨や流れを理解・共有していただくために実施していますが、本年度事業関係者のみならず、邦楽分野のアウトリーチ・ワークショップ事業などに関心のある公共ホールや、文化行政ご担当者の参加を募集します。邦楽事業に関心のある方は、この機会にぜひご参加ください。

※事前登録制となりますので、参加を希望される方は、(公財)しまね文化振興財団(いわみ芸術劇場)宛にお申し込みください。

◎邦楽地域活性化事業

都道府県・政令指定都市のホールが主体となって、市町村ホールとの連携により学校アウトリーチやワークショップ、コンサート等を実施し、邦楽分野のアウトリーチ手法や事業展開のノウハウの蓄積を目指すもので、今年度は公益財団法人しまね文化振興財団(いわみ芸術劇場)が、島根県内の3市(益田市・浜田市・江津市)で実施します。

平成26年度全体研修会(アウトリーチデモンストレーションの様子)

平成28年度「地域創造大賞(総務大臣賞)」の募集開始

地域創造大賞(総務大臣賞)は、地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績のあった公立文化施設を顕彰し、全国に広く周知することにより、公立文化施設の活動のさらなる活性化を図り、美しく心豊かなふるさとづくりの推進に寄与することを目的としています。

平成16年度の制度創設以来、これまでに全国で95施設が受賞しています。受賞施設の中には、平成27年度に受賞した熊本県小国町の「坂本善三美術館」のように古民家を移築して建てられた特徴のある施設や、平成26年度に受賞した岩手県遠野市の「遠野市民センター」のように開館から40年以上を経過し歴史を積み重ねている施設もあります。また、当初別の目的で建てられた施設(例:小学校の校舎など)を転用して文化施設としているケースでも設置条例の制定から概ね5年を経過していれば対象になります。

受賞施設は例年、地域創造レターで詳しくご紹介しており、新聞などのマスコミでも大きく報道されています。

実施要領と応募書は、当財団のウェブサイト(http://www.jafra.or.jp/)からダウンロードが可能です。

応募に際し、施設の規模や事業内容などで不明な点がありましたら、お気軽にお問い合わせください。さまざまな公立文化施設の皆様からのご応募をお待ちしております。

市区町村からのご応募については、都道府県に取りまとめをお願いしています。各都道府県のとりまとめ先は、当財団のウェブサイトに掲載しています。

募集締切:7月25日(月)

◎表彰の主なポイント

- 地方公共団体等が、文化・芸術による地域振興やふるさとづくりという地域を豊かにするための行政の目的に沿った芸術文化振興ビジョンや公立文化施設の理念、使命をもち、それを達成するための施設運営がなされていること
- 先進性、テーマ性を有する自主企画作品の制作、公演や自主企画展覧会の開催等創造的な活動に取り組むとともに、内外の優れた作品の鑑賞機会の提供に意欲的に取り組んでいること
- 地域における文化・芸術活動を担う人材の育成に意欲的に取り組んでいること
- 地域における創造的な文化・芸術環境づくりに持続的な成果が上がっていること

●平成28年度邦楽地域活性化事業
全体研修会
[日時]2016年8月25日(木)
13:30〜17:00
[会場]島根県芸術文化センター「グラントワ」いわみ芸術劇場
島根県益田市有明町5-15
[内容]邦楽分野アウトリーチについてのレクチャー、演奏家によるアウトリーチデモンストレーション・質疑応答、本事業コーディネーターによる座談会など
[参加申し込み方法]所属団体(施設)名、役職名、氏名、電話番号、FAX番号をご記入の上、下記担当者までお申し込みください。なお、メールでお申し込みの場合は、件名を「邦楽地域活性化事業全体研修会参加申込み」としてください。

※応募多数となった場合は、参加人数等を調整させていただく場合もあります。

[担当](公財)しまね文化振興財団
いわみ芸術劇場　文化事業課　田中
Tel. 0856-31-1860
Fax. 0856-31-1884
tanaka-sumie@grandtoit.jp

●邦楽地域活性化事業に関する問い合わせ
総務部　磯部
Tel. 03-5573-4143

●地域創造大賞(総務大臣賞)に関する問い合わせ
地域創造大賞事務局　三浦
Tel. 03-5573-4164
taishou@jafra.or.jp

財団からのお知らせ

●平成29･30年度「公立美術館活性化事業」募集

募集締切：平成28年11月30日(水)

[Ⅰ] 平成29年度準備・30年度開催「市町村立美術館活性化事業」

この事業は、地域創造が提示する、公立美術館の所蔵品を活用した共同巡回展を、市区町村の設置する美術館が共同で実施するものです。

今回、平成30年度開催の共同巡回展として、「美しき日本の風景　小杉放菴記念日光美術館所蔵 国立公園絵画展」(仮称)の参加館を募集します。

昭和の洋画界を代表する画家たちが日本各地の国立公園の美しい風景を描いた珠玉の作品による展覧会です。国立公園協会からの依頼によって、名実ともに日本の近代洋画界を代表する画家80人が自らの所属する団体の枠を超えて制作した全80点の油彩画の中から選定し構成します。昭和初期から約80年間にわたって形成されてきたこのコレクションは、それぞれの画家の技法の特徴や制作された時代の雰囲気などもよく現われており、日本の近代的な風景画を考えるときには、欠かせない作品が揃っていると言えるでしょう。近代日本の風景画の変遷を辿ることはもちろん、日本人の自然観や景観保護に対する意識を探るといった観点からも、さまざまな企画を立案できる有用なコレクションだと思料されます。

さらに、それぞれの参加館で、地元の風景を描いた絵画を独自に展示したり、野山に出かけて風景画を描くワークショップを行うことなどを通して、各地域の風景のすばらしさを再発見する機会とするなど、さまざまな拡がりも期待できます。

この事業では、参加館による実行委員会を結成し、平成30年度に巡回展を開催するほか、準備年度事業として、平成29年度から学芸担当者会議等を行い、アドバイザーの助言の下、企画の具体化や調査研究、制作実務を分担して進めます。

地域創造は、準備年度・開催年度の2か年にわたる助成に加え、アドバイザーの派遣や制作実務に対する助言等により、事業の実施をサポートします。

梅原龍三郎《朝の仙酔島》(瀬戸内海国立公園)
1932年頃　小杉放菴記念日光美術館蔵

小磯良平《伊勢神宮》(伊勢志摩国立公園)
1953年　小杉放菴記念日光美術館蔵

三岸節子《天草》(雲仙天草国立公園)
1956年　小杉放菴記念日光美術館蔵
©MIGISHI

小杉放菴記念日光美術館 国立公園絵画コレクションについて

日本で「国立公園」という制度をつくる構想が明治時代の末に当時の日光町からの請願によって始まったことや、実際の指定に際して日光出身の画家・小杉放菴も深く関わっていた歴史的な経緯、さらに小杉放菴記念日光美術館が国立公園内に存在する数少ない公立美術館であることなどが考慮され、2011(平成23)年度、「財団法人国立公園協会」が解散するときに全コレクションを受贈。その後、所蔵作品として、環境省日光自然環境事務所の協力を得るなどした展示を随時行っています。

●「公立美術館活性化事業」に関する問い合わせ
総務部　吉崎・三浦
Tel. 03-5573-4053

●各事業の詳細については、実施要綱をご確認ください。各実施要綱および申請書類は、当財団のウェブサイト
http://www.jafra.or.jp
→「様式箱」よりダウンロードできます。

◎[Ⅰ]「市町村立美術館活性化事業」参加申込方法

参加を希望する市町村立美術館が、直接地域創造に申し込みます(各美術館の設置者である地方公共団体の長の副申が必要です)。なお、参加決定後に共同巡回展実行委員会を設立していただきます。また、事業の参加に当たっては、準備年度に開催される実行委員会・学芸担当者会議への出席に係る経費等についての予算措置が必要です。

[Ⅱ-①] 平成29年度準備・30年度開催「公立美術館共同巡回展開催助成事業（2か年プログラム）」
[Ⅱ-②] 平成29年度開催「公立美術館共同巡回展開催助成事業（単年度プログラム）」

3館以上の公立美術館が共同で自主的に企画する、公立美術館の所蔵品を活用した共同巡回展に対し助成します。

「2か年プログラム」は、平成29年度に企画の具体化や調査研究、出品交渉やカタログ編集等の準備作業を行い、平成30年度に巡回展を開催する事業を対象とし、準備年度150万円、開催年度2,000万円を上限に助成します（なお、開催年度助成金については、決定額の50％までの前金払い請求が可能です）。

「単年度プログラム」は、平成29年度に開催される共同巡回展について、[A] 作品借用・展示関連経費への助成と、[B] カタログ作成経費への助成のどちらかをご選択いただき、[A] については500万円、[B] については300万円を上限に助成します。

[Ⅲ] 平成29年度実施「公立美術館共同巡回展企画支援事業」

2館以上の公立美術館による、「公立美術館共同巡回展開催助成事業」の申請に向けた、企画内容の検討や調査研究等の取り組みを支援します。地域創造は学芸担当者会議の開催や調査活動のための経費に対し、100万円を上限に助成するほか、アドバイザーの派遣、会議室の提供、他の参加館募集の告知等による支援も行います。

[Ⅳ] 平成29年度実施「公立美術館共同地域交流プログラム助成事業」

2館以上の公立美術館が共同で企画する、公立美術館の所蔵品を活用した地域交流プログラムの実施に対し、100万円を上限に助成します。参加館や他の公立美術館のコレクションを活用した展覧会（異なる展覧会も可）に関連し、各館の展示内容やテーマ（作家、素材、技法、様式、モチーフなど）をもとに自主的に企画・実施される地域交流プログラムが対象です。

◎[Ⅱ-①]「公立美術館共同巡回展開催助成事業（2か年プログラム）」申請方法

- 準備年度：各参加館が申請します。申請書類一式を代表となる館が取りまとめ、直接地域創造へ提出してください（各美術館の設置者である地方公共団体の長の副申が必要です）。なお、助成決定後に実行委員会を設立していただきます。
- 開催年度：準備年度に助成決定を受けた共同巡回展実行委員会より申請します。

◎[Ⅱ-②]「公立美術館共同巡回展開催助成事業（単年度プログラム）」申請方法

各参加館が申請します。申請書類一式を代表となる館が取りまとめ、直接地域創造へ提出してください（各美術館の設置者である地方公共団体の長の副申が必要です）。なお、助成決定後に実行委員会を設立していただきます。

◎[Ⅲ]「公立美術館共同巡回展企画支援事業」および[Ⅳ]「公立美術館共同地域交流プログラム助成事業」申請方法

各参加館が申請します。申請書類一式を代表となる館が取りまとめ、直接地域創造へ提出してください（指定管理者制度を導入している施設の場合に限り、設置者である地方公共団体の長の副申が必要です）。なお、実行委員会の設立は必要ありません。

事業名		対象となる美術館（＊1）	申請について	助成措置		
				助成率（＊2）	上限額	助成期間
[Ⅰ]	市町村立美術館活性化事業	市区町村（政令指定都市を除く）の設置する美術館	参加を希望する各市町村立美術館より申請 ※開催年度は実行委員会より申請	準備年度：10/10 開催年度：2/3	準備年度：100万円 開催年度：1,200万円	2年間
[Ⅱ-①]	公立美術館共同巡回展開催助成事業（2か年プログラム）	都道府県、政令指定都市、市区町村の設置する美術館	3館以上 申請事業に参加する各公立美術館が申請（代表館が取りまとめる） ※開催年度は実行委員会より申請	準備年度：2/3 開催年度：2/3	準備年度：150万円 開催年度：2,000万円	
[Ⅱ-②]	公立美術館共同巡回展開催助成事業（単年度プログラム）		3館以上 申請事業に参加する各公立美術館が申請（代表館が取りまとめる）	2/3	作品借用・展示関連：500万円 カタログ作成関連：300万円	1年間
[Ⅲ]	公立美術館共同巡回展企画支援事業		2館以上 申請事業に参加する各公立美術館が申請（代表館が取りまとめる）	10/10	100万円	
[Ⅳ]	公立美術館共同地域交流プログラム助成事業		2館以上 申請事業に参加する各公立美術館が申請（代表館が取りまとめる）	10/10	100万円	

＊1　公立美術館活性化事業における美術館とは、博物館その他を含め、美術作品の公開および保管を行う施設をいいます。
＊2　[Ⅰ]の開催年度および[Ⅱ]については、対象経費の合計額から収入を控除した額の助成率です。その他については、対象経費の合計額に対する助成率となります。

＊地域創造レターは再生紙を使用しています

▼—今月のレポート

財団の支援事業や地域の創造活動に参考になる催しを取り上げてレポートします

東京都台東区

東京文化会館
ミュージック・ワークショップ

上：「あけてみよう！海のふしぎな宝箱」（撮影：ヒダキトモコ）／下：「タネまき、タネまき、大きくなあれ！」（撮影：鈴木穣蔵）

●東京文化会館ミュージック・ワークショップ　※参加定員は各20人程度
［会場］東京文化会館 リハーサル室
［主催］東京都／東京文化会館・アーツカウンシル東京（（公財）東京都歴史文化財団）
［プログラム（2016年5月22日）］「あけてみよう！海のふしぎな宝箱」（桜井しおり、野口綾子）、「タネまき、タネまき、大きくなあれ！」（高田有香子、吉澤延隆）

＊1　カーザ・ダ・ムジカは“音楽の家”の意味。ポルトガル第2の都市・ポルト市が2001年に欧州文化首都に指定されたのを機に計画された音楽専門施設。オランダの世界的建築家レム・コールハースによる独創的な建物。2005年開館。メインホール（1,238席）、可動席の小ホール（300席）など。オーケストラアンや現代音楽のアンサンブルなどがレジデント。

＊2　東京文化会館がアーツカウンシル事業の一環として行う「Music Program TOKYO: Music Education Program」の中核事業。カーザ等との国際連携により、ワークショップと人材育成を実施。同館が育成したワークショップ・リーダーによるプログラム「東京文化会館ミュージック・ワークショップ」（通年）、カーザを招聘する「ミュージック・ワークショップ・フェスタ」（7月、10月）、ワークショップ・リーダー育成プログラム（基礎、ワークショップ創作）を実施。受講生1～3人をポルトガルに派遣し、優秀者を東京文化会館ワークショップ・リーダーとして採用（現在9名）。

2011年に開館50周年を迎えたのを機に新たな事業に着手した東京文化会館が、13年からポルトガルのカーザ・ダ・ムジカ[＊1]（以下、カーザ）との国際連携による「Workshop Workshop!」[＊2]を展開し、注目を集めている。5月22日、その一環として行われている東京文化会館ワークショップ・リーダーによるミュージック・ワークショップを取材した。

当日のプログラムは未就学児と保護者を対象にした3クラスで、「あけてみよう！海のふしぎな宝箱」（6～18カ月、19～35カ月）と「タネまき、タネまき、大きくなあれ！」（3～4歳）。参加者のための控え室には、授乳やオムツ替えのスペースが準備され、ベビーカーで移動できる。

「宝箱」では、パステルカラーのメルヘンな衣裳を着た桜井しおりさん（ピアニスト）が奏でるトライアングルに導かれて参加者が入場。野口綾子さんのピアノに乗せて、桜井さんは幼児一人ひとりの名前を尋ね、「みはるちゃん、よろしくね」と歌いかけ、クラゲに見立てたタンバリンにタッチ。恐る恐る触る子、勢いよく叩く子…。そうして海の生きものたちをビジュアルコンセプトに、身体や音具を使ったリズム遊び、エフェクト効果のある大きな貝殻電話を使ったボイス遊びなど、音楽と海の世界を五感で楽しむワークショップを展開。また、「タネまき」では、参加者もネズミの耳を着けるなど全員が動物になってプレイ。高田有香子さん（ピアニスト）、吉澤延隆さん（箏曲家）は、着ぐるみで本格的な演奏を披露していた。

●

この事業を提案した事業企画課の福井千鶴さんは、「ヨーロッパでフリーのオペラコーディネーターをしていた時にカーザと出合った。小さなリハーサル室で予算をかけることなく地元のアーティストだけでやっているのに、衝撃的な感動があった。子どもたちの好きな色やビジュアルを大切にしていてショー（舞台芸術）のように見る要素が強く、日本人も参加しやすいと思った」と話す。

毎年カーザから指導者を招聘し、彼らのワークショップを実施するとともに、ワークショップ・リーダーの育成をスタート。今回出演した野口さん、桜井さんはその第1期生で、3期生の吉澤さんは唯一の邦楽家だ。

野口：制作者として子ども向けのプログラムを担当した経験がある。研修では、彼らのワークショップを見た後、構造について学んだ。音楽で世界観をつくったところに参加者を迎え入れる、子どもたちの名前を訊くアクティビティを入れる、合奏や身体的な動きを入れる、クールダウンする場面を入れる等。こういうやり方もあるのかと素直に感動し、それらを踏まえて、今回のワークショップを考えた。

桜井：大学でピアニストの仲道郁代さんに師事し、アウトリーチのアシスタントを務めたのがきっかけで教育普及に目覚めた。カーザの「コオロギの大冒険」は、2人の男性が衣裳を着けてコオロギになりきり、舞台装置などオペラに近い視覚効果があり、感心した。クラシックのピアニストなのに打楽器も管楽器も弾けて、多彩な音楽が演奏できるマルチプレイヤー。彼らは、どんな対象であれ、知らない人たちと音楽でコミュニケーションできるリーディング（leading）のプロフェショナルだと思った。

吉澤：「これが邦楽です」と提供するのではなく、こういうワークショップでピアノのように今の時代に生きている楽器のひとつとして自然に受け止めてもらうことが必要だと思った。

事業企画課の梶奈生子課長は、「発信力があり、創造性があり、幅広い都民に開かれた事業が求められるようになり、その一環としてカーザとの事業をスタートした。手探りだったが、日本人のワークショップ・リーダーが創作したものも含め、現在はプログラム数も15になり、実施回数も初年度の9回から今年度は約120回と急速に増えている。都内の公立ホールなどにも招聘されるようになり、特別支援学校とのコラボレーションもスタートした。課題は多いが、これからも長い目で取り組んでいきたいと思っている」と話す。

未就学児童を4段階に分けるなど、子どもたちの目線でプログラムを開発するカーザの取り組みに学ぶところは多い。その研究開発・実践機関として、東京文化会館が果たすべき役割は大きい。　（地域創造編集部・坪池／江坂）